



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 247711

会長	嶺	岸	光	吉
幹事	佐	藤	徳	衛
会報委員長	川	村	繁	男
	小	池	正	治
	西	海		一
	佐	藤		昇

No., 1066 1980. 7. 22 (火) (晴) No., 4

◆ ゲスト紹介

山口吉彦氏 同夫人なす子さん
鶴岡NHK放送副部長 五十嵐 修氏

幹事報告

佐藤 衛君

1. 会報到着 台中港区R.C
2. 例会場所時間変更

鶴岡西R.C 8月1日の例会 納涼例会という事で6時30分点鐘で
ホテル由良に変更。

温海R.C 7月28日例会 納涼花火大会のため
8月2日 6時点鐘 鼠ヶ関ビーチセンターに変更。

八幡R.C 7月26日例会 納涼例会のため 点鐘5時30分
フィールドアスレチック丸太ハウスに変更。

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

◆ 第1回庄内分区会長・幹事会についての報告

クラブ奉仕委員長 中江 亮君

7月20日 於 温海 大 清 水
議 題

- (1) ガバナーの公式訪問について 鶴岡R.C — 8月18日
 - (イ) 午後3時～4時迄会長・幹事懇談会が行われますが、分区代理の出席不要とのこと
 - (ロ) クラブ協議会 同日午後4時～6時迄
 - (ハ) 例会訪問 8月19日12時30分～午後1時30分迄
- (2) 地区年次大会について
 - (イ) 於 米沢 9月26日～27日
 - (ロ) 庄内分区より100名以上（鶴岡R.Cから19名予定）
- (3) I.G.F開催について
 - (イ) 9月7日（日）温海R.Cホストで 温海温泉グランドホテルに於て
 - (ロ) 役員 ガバナー代理として黒沢茂パスト・ガバナーがアドバイザーのチーフ格として出席

フォーラムリーダー	本間儀左工門君庄内分区代理
フォーラム副リーダー	田宮長二君（温海R.C）
アドバイザー	村上七五三君（酒田東R.C） — クラブ奉仕部門
	土門敏雄君（遊佐R.C） — 国際奉仕部門
	伊藤春夫君（酒田東R.C） — 職業奉仕部門
	高橋良士君（鶴岡R.C） — 社会奉仕部門
モデレーター	鶴岡R.Cから クラブ奉仕部門
	八幡R.Cから 国際奉仕部門
	酒田R.Cから 社会奉仕部門
	立川R.Cから 職業奉仕部門

モデレーターは7月31日迄に選出し、研究テーマと併せて分区代理迄連絡すること。

(4) そ の 他

- (イ) 浜田ガバナーの伝言として

今年度の出席目標95%。職業奉仕は身についたものでありたい。社会奉仕は身心障害者に目を向けてもらいたい。国際奉仕はW.C.Sを考えたい。そして常任坐・臥・寝ても起きてもひたすら奉仕を考え、実践してほしい。

- (ロ) 本間分区代理が7月29日当クラブ例会にメイクされる。

以上時間の関係で要点のみを報告申し上げましたが、詳細については佐藤衛幹事さんより後日ご報告があると思います。

◆ ゲストのご紹介

鷲田 幸雄 君

昭和17年 鶴岡市（旧八日町）に生まれる。（38才）

朝陽第四小、鶴岡一中、鶴岡南高卒業

35年 東京農業大学海外拓殖科専攻

39年 卒業

- 40年 フランス ボルドー大学留学(ぶどう酒に関する科学を専攻)
 リヨン大学転校 農学地理学を専攻。そのかわり民族学に興味をもち、世界の辺境に住む少数民族を尋ねたいという希望を持つようになる。
- 42年 一時帰国。その後スターズアンドストライプス新聞社勤務
- 45年 文化人類学の研究の旅へ。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、ラテンアメリカ、60数ヶ国を訪ねる。
- 46年 ペルー日本大使館付属(リマの)日本人学校で教鞭をとり、東京農大熱帯植物研究室の研究員となり、主としてアマゾン地域の現地調査をする。
- 50年 また帰国。第1回のアマゾン展開く。この時期にご結婚
- 51年 再びブラジルに渡り、ベレン日本総領事館付属日本人学校の開設、教鞭をとり、ベレンのエミリオゲールジ博物館付属アマゾン研究員。現地の動・植物や原住民の資料を蒐集
- 55年 帰国。8月1日～20日秘境アマゾン展を致道博物館で開催予定。又、現在アマゾン研究所を設立するため計画中といわれます。

◆ゲストスピーチ アマゾンの魅力 山口吉彦氏

ご紹介いただきました山口です。私はつい最近迄アマゾンの河口に近いベレンと云う街で日本人学校の教師をしながらアマゾンの調査をしていました。

アマゾンは世界最大の大河です。長さではナイル河について世界第2位ですが、水量や流域面積は最大です。アマゾンの源流はアンデス山脈の山中で大西洋にそそぐ迄 6,300kmもあり、流域は日本の17倍の面積に及び、川巾は河口から 1,600km位はなれた所にマナーソーと云う街がありますが、このあたりで20km位でだんだん大きくなって河口での巾は 350 kmもあります。東京から名古屋あたりまでになる訳です。

河口に中州がありますが、この中州の島でも九州の1.4倍もあります。支流は網の目のように別れてその流域に珍しい動物、植物、昆虫等が沢山棲息して、又原始的な生活を送っているインディオ達が生活しています。アマゾンは世界で最後に残っている秘境だと思います。今迄私は60数ヶ国廻りましたがアマゾン程、強烈な魅力を持っている所はありません。

先にご紹介いただきましたように私は鶴岡の陽光町出身です。鶴岡も自然に恵まれた街ですので小さい時から昆虫採集等をし、南高時代は山岳部に入って月山、鳥海山、朝日連峯の山々に登り、自然に接する機会を多く持ちました。東京に出てからも北アルプス、南アルプス等に登って身体を鍛えていました。その当時からいつかはアンデス山脈やアマゾンの原始林を見たいと考えていました。

リヨン大学で農業地理を学んでいたとき民俗学の講義も受けましたが、その時から世界の辺境に住む原住民の生活に大変興味をそそられて、専門の農学よりも民俗学の方が自分に合っているのではないかと考え、出来たら世界各地を尋ねていろいろ研究したいという熱意にかられました。

10年位前にアマゾンの源流であるアンデスに行きました。アンデス山脈から

の雪解け水が流れ流れて大西洋にそそぐのかと思うと、出来ればこれから後アマゾンの中流、下流と何回かに分けて挑戦して見たいと決心しました。

アマゾンのインディオは150位の部族が現存しています。インディオは文明人に対して非常な警戒心を持っているのでインディオと接触するには先ず相手の警戒心を解くように努めなければなりません。

接触の方法の一つは部落の境界付近に相手が喜びそうな贈り物を置く事です。金属文化迄には達してないので小型の刃物とか装身具が喜びばれます。贈り物を置いたら一度引きさがります。2、3日後その場所に行ってみてなくなっていたら一応受け入れてくれたと解釈して良いようです。部落に入ったら酋長や長老の人達に贈り物をして心を開いて貰い、そのあとは物々交換で種々の資材を集めました。

民俗資料だけでも1万点位ありますし、動・植物等の資料を合すると4万点位になります。ここに持って来たのはその内のほんの一部の資料ですがご紹介します。

(ワニ狩りの話、アルマジロ、オセロット(山猫)、大はし鳥、しょじょうとき、かざり鳥、舞子鳥、蜂鳥、ピラニア、かみ切り虫、かぶと虫、毒ぐも、蝶類、強壯薬ガラナ、世界最大の淡水魚ピラルク。装身具—インディオのハンモック、仮面等について説明がありました)

インディオは物質文化の点ではかなり原始的な生活で、風俗、習慣は非常に違いますが、アマゾンと云う大密林の中で生態形のバランスをくずさないで生活しています。

ブラジルでは欧米の先進国に追いつけ、追い越せと云う事を国策にして、最近では地下資源を求めて密林を乱伐している状態です。たしかに開発も必要ですがこのまま進んで行くと、30年~40年で第二のサハラ砂漠になると云われているので、自然の保護も必要でしょうしブラジル一国のためでなく、世界の人類が生き残るため調和のとれた開発が必要になって来ると思っています。

SMILE BOX

齋藤胃腸病院竣工—齋藤栄作君、設計者 新穂光一郎君
備品納入 高橋正太郎君、小松広穂君
設備施工者 鶴岡西R.C 上野十九治君
県立鶴岡病院建築工事優秀表彰—施工者 佐藤 衛君

出席報告

本出 日の 席	会員数	70名	欠 席 者	秋野君、張君、飯白君、石原君、風間君、黒谷君、皆川君、中野君、中村(富)君、齋藤(得)君、齋藤(利)君、佐藤(友)君、横田君、鈴木(弥)君、津田君、手塚君、上野君、吉野君
	出席数	53名		
	出席率	76.06%		
前出 回 の 席	前回出席率	83.10%	メ ア ー ク ブ	佐藤(友)君、高橋(正)君、玉城君、鷲田君 —鶴岡西R.C
	修正出席数	63名		
	確定出席率	88.73%		